

Small Talk台本（第3時・第4時のはじめ5分）

進め方（外国語活動）：帯活動として単元の後半に2回。4年は先生の話聞くことが中心で、ペアは2回目だけ30秒×2回（相手を替えて）。1回目のペアのあとに中間指導（下の「ことばの補給」）を挟む。なりきりではなく先生の本当のふでばこで話す。

話題1 先生のふでばこ、なにが入ってる？（第3時）

板書：ふでばこの絵と、？を5つ。役の札「たずねる」「こたえる」と、うなずく絵・首をふる絵。英文は書かない

T Look! This is my pencil case. There are five things in it. Ask me!
見て！先生のふでばこ。5つ入っています。Do you have ...? で聞いてね。（ふって音だけ聞かせる）

S Do you have a pen?
ペン、もってる？（A pen? だけでもよい）

T Yes, I do! (赤ペンを出して見せる) A red pen. I use it every day.
もってるよ！赤ペン。まいにち使っています。（丸をつけるまね）

S Do you have scissors?
はさみ、もってる？

T No, I don't. Sorry! Next question!
もっていないよ。ざんねん！つぎの質問どうぞ。（首をふる。5つ出るまで続ける）

つまった子への助け舟：Do you have が出ない子は A pen? だけでよい。先生が Do you have a pen? と言い直して答える。

話題2 先生のわすれもの（第4時）

板書：けしゴムを手わたす絵と、うなずく絵・首をふる絵。英文は書かない

T Oh no! I don't have my eraser today. (さがすまね) Do you have an eraser?
あれ？けしゴムをわすれちゃった。けしゴム、もってる？（ふでばこをさがすまねのあと、1人の子に）

S Yes, I do. Here you are.
もってるよ。はい、どうぞ。（Yes! と手わたすまねだけでもよい）

T Thank you! You are kind.
ありがとう！やさしいね。

T Now, in pairs. Ask for a pencil, an eraser, or a ruler.
ペアで。わすれものの役が聞く→かす役が答えて、手わたすまね（30秒・役と相手を替えて2回）

S Do you have a ruler? — Yes, I do. Here you are. — Thank you!
（先生と子ども1人で、一度やって見せる）

つまった子への助け舟：Here you are. が出ない子は、手わたすまねと Yes! だけでよい。



中間指導 1 回目のあとに全体で（ことばの補給）

第4時のペアの1回目のあとに全体で：「かしてもらえた人？」と聞いて手をあげてもらう。→「No, I don't. のときは、どうした？」と聞き、板書の首をふる絵の横に両手を合わせる絵を足して、Sorry. をそのジェスチャーといっしょに全員で2回言う（第3時に先生が言っていたことば）。ふやすのはこの1語だけ。→ 相手を替えて2回目へ。2回目は「かしてもらって、うれしかった？」をたずねて終わる（その気持ちが、このあとのおくりものセットで「あいてがこまっているものを選ぶ」元になる）。

対話を続けることば 黒板横に掲示しておく

はじめる	Hello!
くり返す	A red pen? Me, too!（あいての言葉をくり返す）
ひとこと感想	Nice! / Wow!
たしかめる	Pardon?
わたす	Here you are. → Thank you!
ことわる	No, I don't. Sorry.（両手を合わせる）
おわる	Thank you. / See you!

先生へ

- ・4年の Small Talk も先生の話聞くのが中心。第3時は子どもが先生に聞くだけでペアにしない（ひみつのもちものあての前に、聞く側を全員で1回やっておく）。第4時のペアも30秒×2回で十分
- ・ふでばこは先生のものだけを使う（子どもの実物のふでばこは出させない＝持ち物の差が見える）。中身は先生の本当のものに差し替える（Word版で書き換えられる）。本当の中身だと、当てる質問が本物になる
- ・第4時のかし借りは、手わたすまねでよい（実物は出さない）。Here you are. は、このあとのおくりものセットの This is for you. への橋。音声は先生と子どもの声で、話題ごとに1本ずつ